

於て先づ水利、飲料水を改良し、農工を奨励すると同時に、良醫の養成、公衆衛生の發達を圖らざるべからず。

第三章 住民

第一節 人口

新疆の住民は、我明治三十八年（西曆一千八百〇五年）該省の調査に據れば、總計一百六十二萬四百餘人と稱す。是れ當に永住の帶家族者のみの算なれば、此外無帶家族者、其の他調査漏の者を悉く精算するに於ては、總計約貳百萬人と積るも大差なかるべきか。

人口は國政其他社會百般の調査上、之れが根原となるものなるが故に、最も正確を要すべきが、何れの邦家に於ても、往々正確を欠くこと有り。況んや戶籍法の不完全なる清國に在りて、其の調査精細ならざるは、敢て恠むに足らざるなり。現に省城たる廸化府、廸化縣内にすら、算外者三千餘人に達すと云ふに至りては、推して